平成２２年度

生徒用

「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査）

中学校　第１学年　国語

○問題用紙は４枚，解答用紙は２枚あります。

学校名	

年　　組　　号	
名　前	

熊本県教育委員会

1 今聞き取ったことをもとに、次の問いに答えなさい。

(1) この発表会の中で、田中さんが担当した発表テーマを書きなさい。

(2) 田中さんは、自分の考えを分かりやすく伝えるためにどんな工夫をしていましたか。その工夫として最も適切なものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 伝えたい内容について、見学したことを時間の経過にしたがって話をしている。
イ 伝えたい内容について、同じような内容を何度も繰り返しながら話をしている。
ウ 伝えたい内容について、自分の体験から感じたことを短くまとめて話をしている。
エ 伝えたい内容について、音やインタビューした内容を用いながら話をしている。

(3) このあと、あなたは田中さんの発表について感想を述べることになりました。田中さんの発表の中であなたが最も心に残った部分を取り上げ、そのことについてのあなたの考えを、実際に発表するように話し言葉で書きなさい。

2 次の問いに答えなさい。

(1) 次の文の ―― 線の漢字の読みがなを書きなさい。また、―― 線のひらがなを漢字に直しなさい。

① 健康を保つように心がける。 ② 海に臨んで家が建つ。 ③ 試合が近いので部活動に専念する。
④ 困った事態を収拾する。 ⑤ 薄氷を踏むような思いをする。
⑥ 缶ジュースをよくふる。 ⑦ 寄せる波が岸をあらう。 ⑧ 夕日が水平線にしずむ。
⑨ きけんな状態を脱した。 ⑩ 古い橋のほきょう工事をする。

(2) 次のように、十二月の生活目標を書きましたが、文字の配列と配置が整っていません。正しい配列と配置になるように、「規則正しい生活をしよう」の部分を書き直しなさい。

十二月の生活目標
規則正しい生活をしよう

⇐

十二月の生活目標

(3) 主語に当たる文節を、次のア～カから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 朝日を　イ 浴びて　ウ 海が　エ きらきらと　オ 輝いて　カ いる。

(4) 次の文を、あとのように「だから」を使って二つの文に分けて書き直すことにしました。「だから」を使って二つの文に分けたときの前の文の終わりの五文字と後の文の始めの五文字を書きなさい。

学校から帰っていたら、小学生が道に迷っていたので、わたしは、その子を家の近くまで送っていった。

。だから、

3

国語の時間に詩の学習をしています。あなたも、この学習に参加しているつもりで、あとの問いに答えなさい。

(1) 山口さんの学級では、Aの詩について、次のような話し合いをしました。話し合いの中の［ア］と［イ］に当てはまる言葉を、詩の内容を考えながら書きなさい。

A

（吉野弘「熟れる一日」による。）

話し合いの様子

山口　この詩の中の「熟れる」という表現から、どんなことが分かりますか。みなさんの意見を聞かせてください。

橋本　まず、第一連にある、「こんなに良く熟れる夏の一日」とは、どんな一日だろうかと思いました。「熟れる」の意味を国語辞典で調べると、「果実が熟する。」とあります。この詩では、ある夏の日の夕焼けの様子を［ア］にたとえて表現してありますね。

山口　そうですね。「熟れる」という言葉は、真っ赤な夕焼けの様子を表現したものでしょうね。この後、空の色はどのように変化しているのでしょうか。

森本　第二連に、「赤いおいしそうなところがゆっくり　減ってゆく。」とあります。このように、空から夕焼けの赤さがしだいに消えていくのは、「空にいらっしゃる方が、［イ］から

山口　ではないか。」と表現されていて、おもしろいと思いました。この詩では、たとえが効果的に使われていて、情景があざやかに思い浮かびますね。

(2) Aの詩を学習した後、山口さんは、次のBの詩に出会いました。Aの詩の題名である「熟れる一日」のことを思い出したので、学級のみんなに紹介しました。下の「山口さんの発表」の中の［ウ］に当てはまる言葉を、Bの詩の中から十字で書き出しなさい。

B

（高見順「天」による。）

山口さんの発表

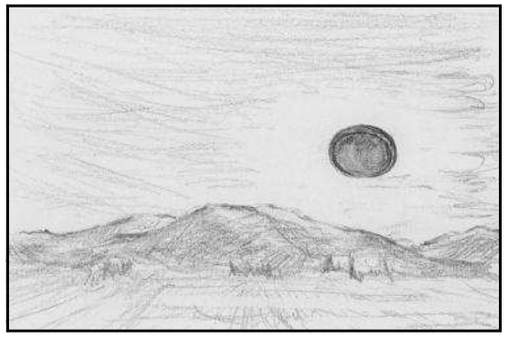
作者は、「天」とは何かを考えています。わたしたちは、空をイメージしますが、この作者は、［ウ］の周囲は「天」であると表現しています。

この二つの詩は、両方とも「熟れる」という言葉をうまく使って、その心情や情景を読者に豊かに想像させようとしていることが分かります。

(3) Aの詩に挿絵（さしえ）を添（そ）えようと思います。あなたは、次の**ア**・**イ**のどちらの挿絵が、Aの詩のイメージに合うと思いますか。次の【書き出し】にしたがって書きなさい。（ただし、理由には詩の中の言葉を引用して書くこと。）

ア

イ



【書き出し】

この詩のイメージに合う挿絵は、（　　）だと思います。

その理由は、・・・

4

鈴木さんの学級では、国語の時間に、基本的な推敲の方法について学習したあと、次の「推敲について」という文章を読みました。よく読んであとの問いに答えなさい。

。

（外山滋比古「文章を書くこころ」による。）

(1) ――線①に「書くときは、ひたすら書く。」とありますが、なぜひたすら書いた方がいいのですか。文章の中の言葉を使って理由を書きなさい。

(2) ――線②に「風を入れた方がよい。」とありますが、鈴木さんは、「風を入れる」について、下のようにノートにまとめました。［ア］・［イ］に入る言葉を簡潔に書きなさい。

(3) 右の文章には、推敲するうえで効果的な方法が紹介されています。あなたが、自分の書いた文章を推敲するときには、この文章で紹介されているどんな推敲の方法を取り入れたいですか。その理由も分かるようにノートの［ウ］に書きなさい。

鈴木さんのノート

十月八日

推敲について

○ 推敲とは
・ 文章をよくするために字句を整えること
○ 文章を書く段階の留意点
・ ひたすら書くこと
○ 推敲する段階の留意点
・ ていねいに読み返すこと
・ 「風を入れる」
※ どうすることか。
↓ ［ア］
※ 目的
↓ ［イ］
○ 推敲の具体例
① 横光さんの例
② 石川さんの工夫
③ 筆者の提案
○ 取り入れたい推敲の方法と理由
［ウ］

（語句の意味）
・故事
昔あったことや昔から伝えられていること。
・翻訳
ある国の言語や文章を、他の国の言葉に言いかえること。

鈴木さんの学級では、「総合的な学習の時間」の調べ学習でお世話になった地域の方々に、文化祭の案内状を送ることになりました。鈴木さんが書いた案内状を、友達の山田さんに読んでもらったところ、山田さんから「コラボレーション」という言葉を、**「共同制作」**に直した方がいいというアドバイスをもらいました。そこで、鈴木さんは、インターネットでカタカナ語（カタカナで表記された外来語や外国語）に関する資料を集めてみました。

【鈴木さんが書いた案内状の一部】

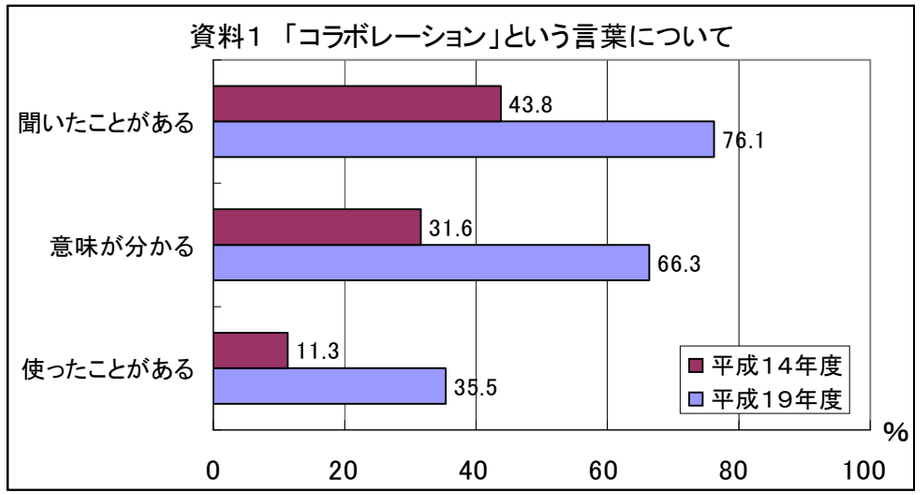
先日は、おいそがしい中、わたしたちの取材に快く応じていただきありがとうございました。その後、いただいた資料をもとに、学習の成果を広用紙にまとめました。わたしたちの学級の作品は、文化祭で一年二組の教室に展示します。

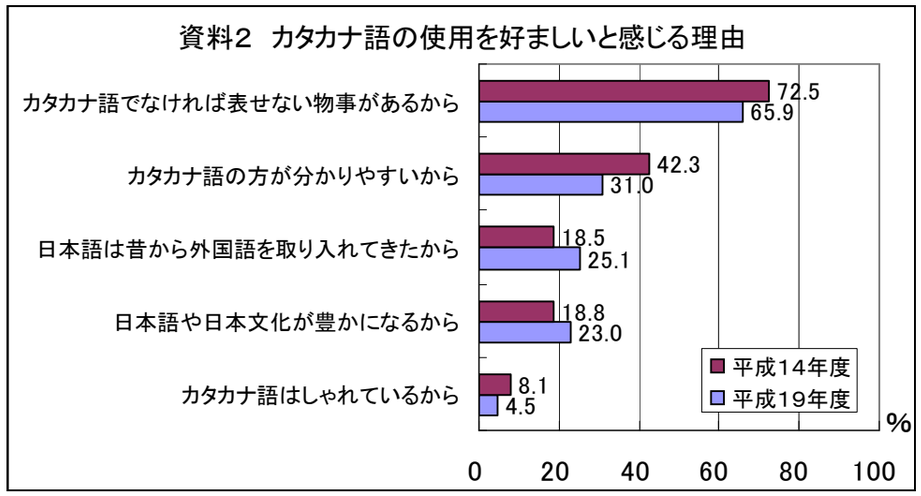
また、文化祭のステージ発表では、吹奏楽部の演奏に合わせて書道部員が作品を書き上げていくという、吹奏楽部と書道部の**共同制作**~~コラボレーション~~が行われます。

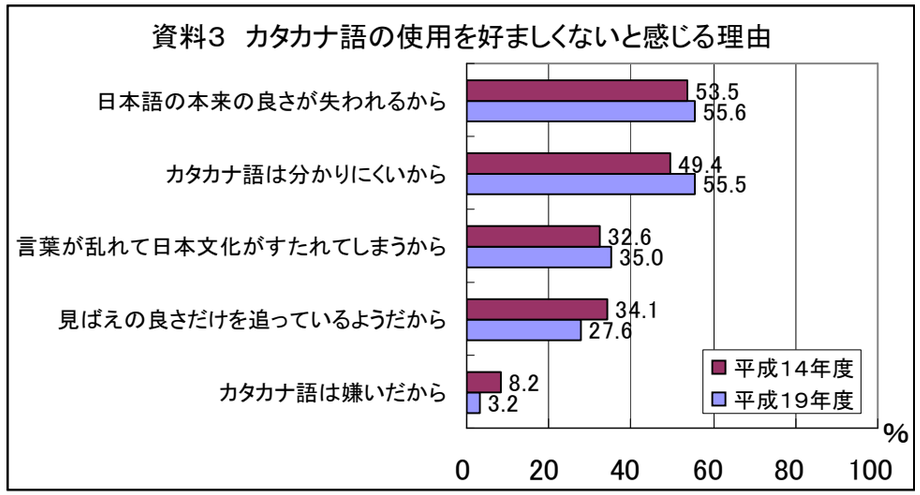
【鈴木さんが集めた資料】

平成十九年度「国語に関する世論調査」〔文化庁〕から引用

（全国の十六歳以上の男女、一九七五人から回答を得た結果。複数回答のため、合計は一〇〇％をこえる。）







(4) あなたが山田さんの立場なら、「コラボレーション」という言葉を使わない方がよい理由をどのように説明しますか。**資料1～3のいずれか**を使って書きなさい。

(5) あなたは、カタカナ語を使用するときに、どのようなことに気を付けますか。あなたの考えを次の【条件】に合わせて書きなさい。

【条件】
① 題と名前は書かないで、本文から書き始めること。
② 集めた資料から分かったことをもとに、カタカナ語を使用するときにどのようなことに気を付けるか、具体的なカタカナ語を取り上げて書くこと。（思いつかない場合は次の（例）から選んで書いてもかまいません。）
（例）「リサイクル（再利用）」　「レクリエーション（娯楽（ご）・気晴らし）」　「グローバル（地球規模）」
③ 原稿用紙の使い方に合わせて、百六十字以上二百字以内で書くこと。
④ 読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまわないこと。